

JANSSEN INTERNATIONAL RESIDENCE

南山大学ヤンセン国際寮

世界が集う、私が変わる。



JANSSEN
INTERNATIONAL
RESIDENCE
南山大学ヤンセン国際寮

CONCEPT

国境を越えて活躍できる人材に

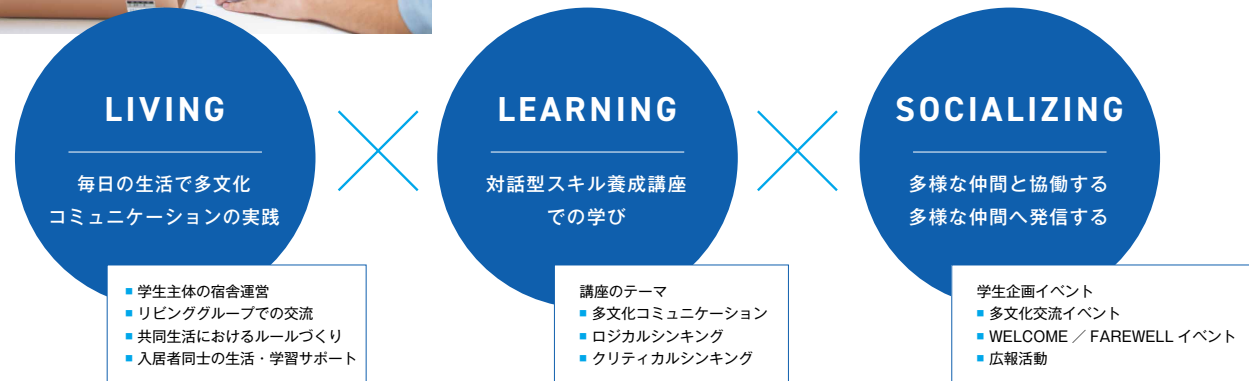
ヤンセン国際寮は、様々な文化や国籍、言語、宗教、価値観を持つ学生たちが共に暮らし学びあう国際学生宿舎で、「ダイバーシティ&インクルージョン実践力養成プログラム」と呼ばれる教育プログラムを実施しています。入居者は、キャンパスや教育プログラムで得た学びやスキルを宿舎で実践し、多様な価値観を認め合い、活かしあうことで国境を越えて活躍できる力を身につけます。



PROGRAM

ダイバーシティ & インクルージョン 実践力養成プログラム

入居者は、Living「毎日の生活」、Learning「対話型のスキル養成講座」、Socializing「交流イベント」の3つのモードで、インプット、実践、振り返りにより学びを深めます。留学準備や社会人スキルの涵養など、将来のビジョンや興味関心に応じて参加するアクティビティや役割を選び、自ら学びをデザインします。



教育プログラムを通して育む 4つの力

多文化共生の力

多様な文化や価値観を持つ人たちが共に生活をする中で、それぞれの共通性や違いを理解し認め合い、自分の考えを発信していく力

クリティカルシンキングの力

ひとつの問題に対し、原因や影響を様々な角度から捉え、関連する情報を収集・分析し、論理的に解決策を導くことができる力

インクルージョン実践の力

多様なメンバーから成るグループにおいて、個の力を最大限に活かし自己と他者のためにフォローシップ、リーダーシップを発揮する力

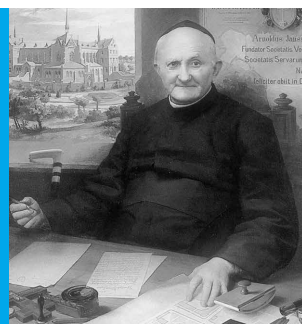
変革と創造の力

コミュニティの仲間との「対話」を通じて、課題や問題に気づき、創造的な解決策を見出し、周りを巻き込んで実施していく力

ORIGIN

聖アーノルド・ヤンセン司祭にちなんで

宿舎の名前は本学の設立母体である神言修道会の創立者聖アーノルド・ヤンセン (Arnold Janssen) 司祭にちなんでいます。
「We live in a time when much is collapsing, and new things must be established in their place. (訳:我々が生きる時代は、多くのものが崩れ去るような時代である。我々にはその代わりとなるものを作り出す使命がある。)」ヤンセン司祭が遺したこの言葉はまさにヤンセン国際寮の「身の回りや世界規模の様々な課題を発見して新たな解決策を見出していく力を養う」という趣旨につながります。



PROSPECTIVE STUDENTS

EXCHANGE

留学生と友だちになりたい・多文化交流したい学生

LEAD

世界に通用するリーダーシップを身につけたい学生

PLAN AND MANAGE

宿舎の運営や企画などを実践したい学生

COLLABORATE

多様な文化を持つ人々と協働するスキルを身につけたい学生

EXPAND SKILLS

留学準備をしたり、留学経験を活かしたい学生

EXPLORE AND DEVELOP

国内にいながらにして留学を体験したい学生



RESIDENT LEADER & LIVING COORDINATOR

生まれ育った環境、年齢、興味関心などの異なる最大10名の入居者が一つのリビンググループを構成し、一人ひとりが主体的に寮運営に関わります。共同生活の中の交流や対話の中で、新たな視点に気づき、スキルを身につけ、“学びのコミュニティ”を形成します。そのファシリテーションを担うのが、入居者から選出されたレジデントリーダー (RL) とリビングコーディネーター (LC) です。RL/LCミーティングやRL/宿舎アドバイザーミーティングを定期的に開催し、議論を重ねて課題を解決していきます。さらに、教育プログラムの企画運営等にも携わり、学生主体の寮運営を支えています。

Resident Leader

- リーダーシップを発揮できる寮運営の統括役
- 教育プログラムを企画・運営および寮全体の広報活動
- RL 1名がLC 3~4名の相談役となるRL/LCバディ制度の実践
- RL/LCミーティングなどの議事録作成・報告



RL Voice

想像以上のダイバーシティに圧倒され、リーダーの役割を果たせるか悩むこともありました。宿舎アドバイザーに相談したり、RL/LCや入居者との対話を積み重ねる中で、相手の意見を尊重しながら、自分の思いを伝える力を身につけることができました。海外留学さながらの環境で、普通に生活していたら出会えなかった世界各地からの留学生や日本人学生と一生の友情を築くことができました。

Living Coordinator

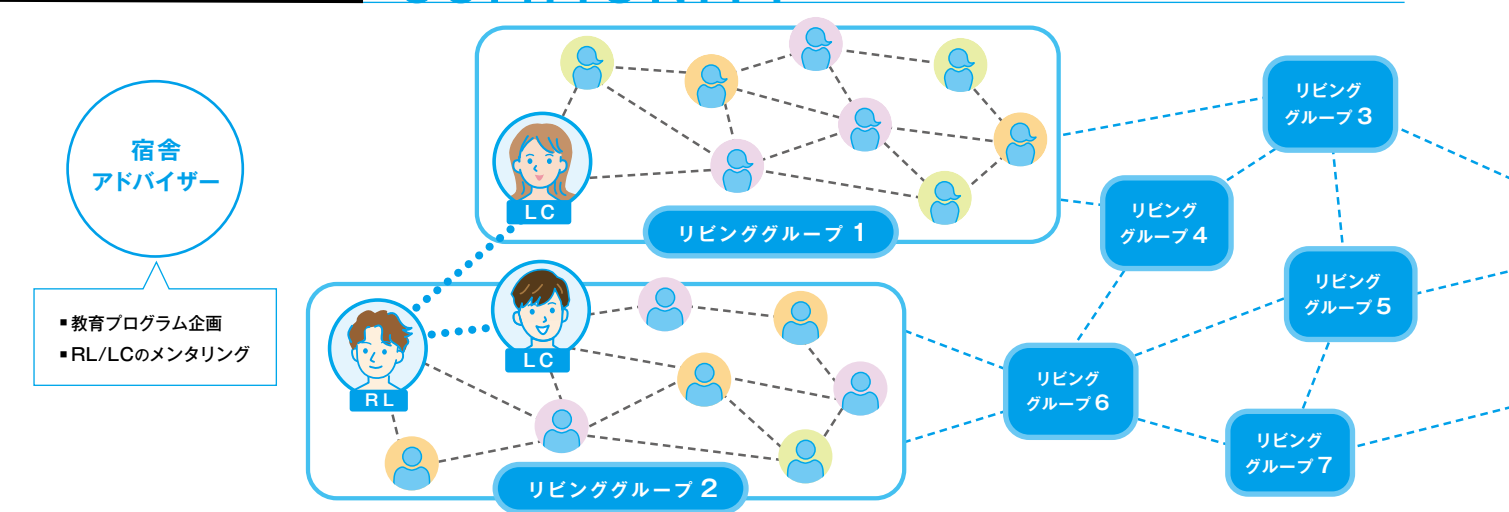
- 多様な学生で構成されるリビンググループのマネジメント
- メンバーが安心・安全に共同生活を送るためのルール作り
- グループ内の多文化交流の促進 (イベント企画・実施)
- 活動レポートの作成・報告



LC Voice

入居当初はダイニングキッチンを10名で上手く共有できるのか心配でしたが、みんなで相談してルールを整備し、快適な環境を保つことができました。RL/LC間の連携でお互いのグッドプラクティスを学び、自分のグループでも取り入れています。価値観や習慣等の違いでトラブルが生じることもありますが、一人ひとりの多様性を理解しインクルージョンすることの大切さを学びました。

COMMUNITY



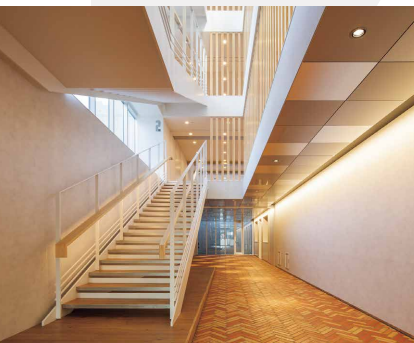
外観

キャンパスに隣接したヤンセン国際寮は3棟からなる地上4階建て、全178室（うち2室はユニバーサル寮室）の国際寮です。



1. エントランス

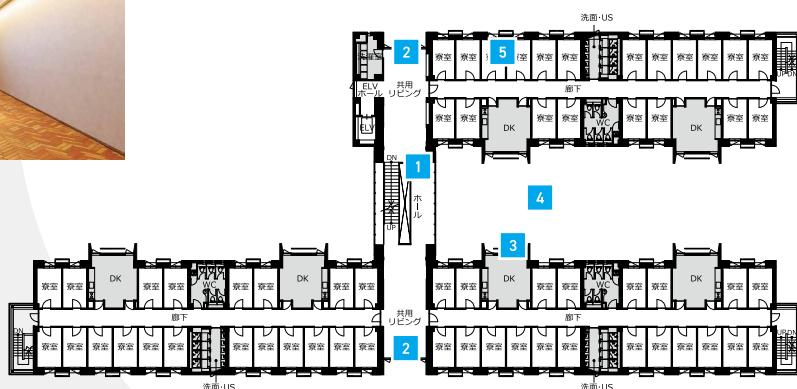
宿舎内はエリアごとに男女の居住スペースが分かれていて、電子キーで入退室管理をします。また、宿舎には管理人がいます。



ENVIRONMENT

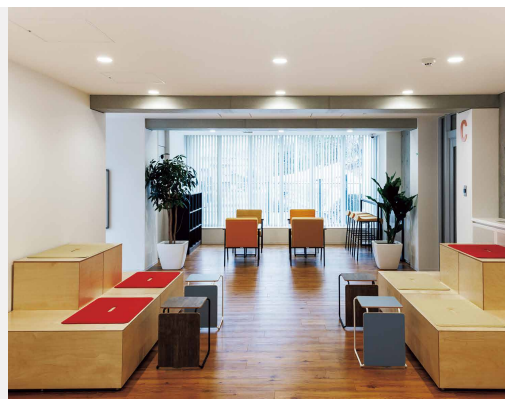
学びを深める生活環境

1グループは最大10名の入居者（同性）、1ウイングは隣り合った2グループ最大20名の入居者（同性）で構成されています。



2. 共用リビング

各階に設置する共用リビングは、課題・プレゼンテーションの準備やピアラーニングはもちろん、仲間と語り合ったり、学生自ら企画したアクティビティやイベントを開催することもできる自由なスペースです。



3. 共用ダイニングキッチン

必要な調理家電や食器類が用意されたダイニングキッチン。各グループごとの共用で、自炊はもちろん仲間と食事をしたり、語りあったりすることもできるスペースになります。



5. 寮室

全室1人部屋（11㎡）で、生活に必要な家具・カーテンやWi-fi、冷暖房を完備しており、勉強にも集中できる環境です。



4. 中庭

外の空気や緑を感じながら、ベンチに座って語りあうなど、リラックスして入居者同士の交流を深めることのできる憩いの場です。



南山大学

ヤンセン国際寮所在地：
南山大学キャンパス隣接（名古屋市昭和区八雲町138番1）

国際センター

Phone：052-832-3123
E-mail：intl-office@nanzan-u.ac.jp

入居申請など、詳しくは
Webサイトでご確認ください。
入居者の声も紹介しています。

